

## 第21回通常総会 議事録

2024年（令和6年）6月24日  
特定非営利活動法人（NPO）  
日本知的財産翻訳協会（NIPTA）

1. 日時 2024年6月24日(月) 16:00~17:30

2. 場所 商工会館・弁理士会館ビル「5階H会議室」  
東京都千代田区霞が関3-4-2

### 3. 議題

#### (1) 審議事項

- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 2023(令和5)年度事業報告について         |
| 第2号議案 | 2023(令和5)年度会計収支決算及び監査報告について |
| 第3号議案 | 2024(令和6)年度事業計画について         |
| 第4号議案 | 2024(令和6)年度会計収支予算について       |
| 第5号議案 | 役員を選任について                   |

### 4. 出席者

現在数 会員総数123名

出席者数 73名(内書面による表決参加58名)

出席者 理事 安藤惣吉

理事 奥山尚一

理事 田端泰廣

理事 二宮俊一郎

理事 浜口宗武

理事 宮本伸也

理事 矢間伸次

オブザーバー 長友陽子

会員 松元洋一 ((株)インターブックス 代表取締役)

会員 バパット ヴィニット ((株)サンガム IP 代表取締役社長 (CEO))

会員 羽鳥徹 (日本ビジネス翻訳株式会社)

会員 古賀誠一

会員 新田順也

会員 安楽哲郎

監事 平沼伸平

### 5. 議事経過

#### (1) 開会

定刻になり浜口常務理事が第21回通常総会の開会を宣言した。

## (2) 理事長挨拶

奥山理事長より各理事、各監事、各会員へご出席の謝辞が述べられた。2023年度は検定事業とジャーナル発行は順調で充実した活動を行うことができた旨の報告があった。今後については事業を継続するために様々な方向性を検討しており、継続性の担保を検討する時期を迎えている旨の説明があった。そのため、検定事業を一旦一年間休止し、その間に今後のNIPTAや検定の在り方について話し合い、検討し、来年度から次のステージに移行予定である旨の報告があった。各理事、各監事、各会員のご理解ご協力をお願いしたい旨の言及があった。

## (3) 議長選出

定款第26条に従い、議長の選任について諮ったところ「司会一任」の声があり、司会より奥山理事長を指名し、全員異議なくこれを承認した。

## (4) 議事録署名人の選出

議長は議事に先立ち、議事録署名人2名の選出について諮ったところ、「議長一任」の発言があり、議長は田端会員と、宮本会員の両氏を議事録署名人として指名した。

## (5) 総会成立確認

浜口常務理事より第21回通常総会開催日の出席者14名、委任状による出席者数58名、計72名で、正会員数123名の過半数62名を超えており、定款27条により本総会は成立しているとの報告が行われた。

## (6) 審議事項

- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 2023（令和5）年度事業報告について         |
| 第2号議案 | 2023（令和5）年度会計収支決算及び監査報告について |
| 第3号議案 | 2024（令和6）年度事業計画について         |
| 第4号議案 | 2024（令和6）年度会計収支予算について       |
| 第5号議案 | 役員の選任について                   |

## (7) 議事の概要および議決の結果

(7) — 1 第1号議案および第2号議案について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明が行われた。

### ・ 第1号議案 2023（令和5）年度事業報告について

- ①第36回知的財産翻訳検定＜第19回和文英訳＞について
- ②第37回知的財産翻訳検定＜第18回英文和訳＞＜第7回中文和訳＞  
＜第7回独文和訳＞について

③セミナー開催状況について

④会員現況について

- ・ 第2号議案 2023（令和5）年度会計収支決算及び監査報告について  
令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の会計決算について浜口常務理事より活動計算書および貸借対照表等をもとに説明が行われた。引き続き、出席監事を代表して平沼監事による監査報告が行われた。

## ○採択

第1号議案および第2号議案について議長から質問・意見を求めた。その後採択を行い、全員一致の賛成で承認された。

(7) - 2 次いで、第3号議案および第4号議案について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明が行われた。

- ・ 第3号議案 2024（令和6）年度事業計画について
  - ①第38回知的財産翻訳検定試験について  
第38回知的財産翻訳検定試験の実施について6月21日に結果発表を行い、滞りなく終了した旨の説明がなされた。
  - ②第38回知的財産翻訳検定試験以降1年間は知的財産翻訳検定試験を実施せず、その期間を機械翻訳や生成AI台頭などの環境変化を考慮した当検定試験の意義やあり方などの研究に充てる。この研究を園田・小林知財サービス(株)へ委託依頼し、研究委託費を支払う。園田・小林知財サービス(株)が座長となり、試験委員を含む有識者、パブリックオピニオンを求める等、当検定試験のコンセプトを策定し、年度末までにレポートを作成する。検定試験休止の1年間を新たな試験の模索・策定の時期に充てる。
  - ③「知的財産翻訳ジャーナル」の月刊刊行について
  - ④知的財産翻訳セミナー等の開催について
  - ⑤1級合格者の集い（時期未定）について
- ・ 第4号議案 2024（令和6）年度会計収支予算について  
浜口常務理事より、配布資料を元に2024年度の予算案の報告が行われた。

## ○採択

第3号議案および第4号議案について議長から質問・意見を求めた。出席会員から、試験を休止すると受験者が離れてしまうことが懸念されるため知的財産翻訳検定試験を実施しながら、再構築への研究を進めることは不可能か？との質問があり、マンパワー、資金の都合上難しい旨の回答があった。また、検定試験と機械翻訳についての協議がなされた。具体的な検討・研究内容については未定だが、最終のゴールとしてはこれからの時代に知財翻訳者があるべき姿を提示すること、研究中は生成AIや機械翻訳等も使用しながら理想的な翻訳者像を提示することを目指し、10月開催のJTF翻訳祭では当検定試験のリニューアルの方向性について発表することを目指す旨のご意見があった。その後採択を行い、全員一致の賛成で承認された。

(7) - 3 次いで、2024年度役員的人事について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明が行われた。

### ・ 第5号議案 役員を選任について

浜口常務理事より、現理事大沼加寿子氏は令和6年4月1日付で推薦母体である日本弁理士会の副会長を退任し、後任同会から新たに同会副会長鶴谷裕二氏の推薦があったので、同氏を大沼加寿子氏の後任として理事に選任し、併せて同氏の理事就任が総会で承認された場合は、同氏を副理事長に選任したい旨の説明があった。また、園田・小林知財サービス株式会社 取締役 長友陽子氏を理事に選任したい旨の説明があった。また、尾上道雄氏が退任する旨の説明がなされた。

## ○採択

第5号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い全員一致で承認された。

## 6. 閉会

以上をもって通常総会の議事を終了したので、議長は議事進行協力への謝意表明とともに閉会を宣言した。

以上、本議事録が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次のとおり記名押印する。

2024年 月 日

特定非営利活動法人（NPO）日本知的財産翻訳協会

議長 奥山 尚一 印

議事録署名人 田端 泰廣 印

議事録署名人 宮本 伸也 印